



校長室 だより No.12

令和2年1月号
白山市立美川小学校
白山市美川和波町ワ229
TEL 278-2063



インフルエンザで寝正月でした (+_+)

校長 今井 直人

終業式で「冬休みには自分のメンテナンスを」と話をした挙句に、美川小を動かすインフルエンサーになるどころか、インフルエンザにかかりました。

暮れの29日夜から変調、医者はどこも大混雑で、31日にやっと入れた当番医でインフルAの判定。そばも食わず、お酒も3日まで一滴も飲まず、ふすま越しに家族の笑い声を聞きながら、暗い部屋で年末年始は家庭内「孤立」でした(注/生徒指導では「孤独はよいが孤立はダメ」と言われている、まさにその「孤立」でした)。

回復後は映画「男はつらいよ」と鈴木大拙館で「心のメンテナンス」を済ませ、引き受けていたQ&Aもあったので、どうにか年賀のご挨拶がわり(これではご挨拶にもなりません...)の校長室だよりを仕上げました。2020年、そして短い3学期ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

Q&A 校長室からお答えします Vol.17 ケータイ持たせてもいい？

Q ランドセルに「子どもケータイ」持たせてもいいんでしょうか？(3年生 母/2学期末の個人懇談会で)

A ここはふたつに分けて考えます。まず「ケータイ」について。お年寄りや子どもにはGPSがついたものもあるそうですね。万一のことを考えたら「キッズ携帯」くらいは今の世の中、緊急時の連絡手段として持たせておくのもいいかもしれません。

では登下校時にランドセルに入れておくかとなると、みんなと同じ時間帯に登下校する、通学路の各所に見守り隊の方が立っている——こんな実情から美川小では不要です。不要なものを持たせて、紛失する、違うことに使う、契約料だけとられる・・・そうなるよりは、持たせないのがいいでしょう(帰宅後の外出時等は保護者の責任でご判断ください)。なお市や学校に持つことの可否についての決める事はありません。ここまでが答えです。



ところで、これがスマホとなると話は別。機能も優れている分、危険度も格段に増します。また子どもの体力の低下、視力の低下がニュースになりましたが、これもスマホが一因であることは多分間違いないでしょう。

すでに持たせている方、またこれから持たせようとしている方に、私がおすすめる確実な安全策は、夜寝る前に茶の間に置いておかせることです。寝床に持ち込むから寝る時間が遅くなり、睡眠の質も悪くなり、視力も落ち、よからぬサイトやSNSにつないでしまうのです。子どものうちは部屋でネットを使わせるとダメですね。

ひとつ興味深いデータを見つけたので紹介します。スマホを子どもに持たせた時期はどうだったかを親に聞いた調査です。

スマホを持たせた時期	早過ぎた	適切だった
低学年(1~3年)で与えた	38%	50%
高学年(4~6年)で与えた	25%	62%
中学1年で与えた	30%	56%
中学2年で与えた	41%	50%
中学3年で与えた	16%	76%
高校1年で与えた	4%	85%

*日本スマートフォンセキュリティ協会調べ
*質問の対象は小5~大学4年の保護者

「小学生にはちょっと早過ぎたかな」と振り返っている親が、およそ3割。これを少数派ととらえてはいけません。それだけの子どもがよくない状況に陥っている(と親は思っている)、ということがわかります。「ケータイ」ではありませんが、あとで後悔することのないよう、ぜひご参考に。